

# 対話型復興まちづくりに向けた合意形成支援ツールの構築

## 調査の背景・目的

- 市街地の復興には、復興まちづくり計画を鳥の目線や人の目線などあらゆる視点で確認しながら、新しいまちなみのイメージを、住民や関係者と共有し、合意形成と意思決定を速やかに図ることが重要
- 被災現況調査結果や津波浸水シミュレーション、市街地復興パターンの検討結果を活用し、復興まちづくり計画の合意形成を速やかに図るため、計画の内容や整備前後の市街地の様子をわかり易く表示するためのツールを開発

## 調査内容

### ○復興まちづくりの合意形成支援ツールの開発

- ー自治体の職員が被災現況調査データの閲覧や分析を、簡易な操作で実施できるツール
- ーマスタープランレベルから街区レベルまで、まちづくり計画をわかりやすく表現できるシミュレーションツール

## 調査成果、期待される効果

- 復興計画や防災計画の策定に向けた合意形成を支援する3次元シミュレーションツールを構築・提供
  - ー住民への説明の各段階に応じて必要となるツールをパッケージとして整理
  - ー本ツールの利活用により、復興まちづくり計画を3次元に確認することで、関係者間の合意形成を促進

### 1.被災状況等の確認

- ・浸水区域や建物被害状況などを確認



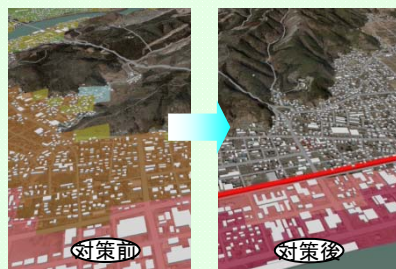
### 2.復興計画の検討

- ・復興計画の方向性検討
- ・マスタープランレベルの確認



### 3.防災計画の検討・策定

- ・防災施設の配置検討
- ・津波シミュレーション結果の確認
- ・避難計画等を検討



### 4.個別地区の事業計画の検討

- ・関係住民の意向を踏まえた具体的な計画検討（土地区画整理事業や防災集団移転促進事業などの街区レベルの具体的な検討）

